～の仕方 （Ｖテ） 指導教案（例） ２～3時間

学齢	小1~小4 高学年～中学生は教材を変える工夫をする	テキスト	例:『にほんごをまなぼう』 21 課
備考	母語での説明は最小限。母語で言われたら否定しないが日本語で返す。2~3名漢字圏、非漢字圏混合		
場面	運動会、スポーツ、体育		

学習目標
1） イ形容詞の復習 2） ～のＶ方 3） Ｖている 4） Ｖとおりにｖ 5） スポーツ、体育の時間に関する言葉 6） 読み書きの練習
準備：形容詞カード、名詞カード、サッカー、野球、バスケットボール、プレイステーションに関する教材（写真、絵、取扱説明書など）

内容	目的
導入（5分）：20課の復習	日本語学習のモチベーションをあげる
形容詞が不確かとのこと→興味のある言葉を使って形容詞の学習 すらすらできるようなら、簡単に。 できなければ、形容詞を教えるところから始める。	
形容詞カード 「　　　」 サッカー サッカーは「　　　」 「　　　」 バスケットボール Ｓ が自分の経験を話し始めたら、「おもしろい？」「おもしろかった？」「難しい？」「難しかった？」など形容詞を使って聞く。 「　　　」 日本語 肯定と否定 「～ない」語尾カード 過去形	楽しい、つまらない、面白い スポーツ、科目 強い、弱い　選手、チーム 難しい漢字、簡単なひらがな 楽しい→楽しくない 楽しかったです。楽しくなかったです
展開	
21課　スポーツ	

本文の読み	
構文を見せる 「～のxxxかた」 （間接法説明） 先生のやり方　先生がどうやってするか、ということです。 直接法の説明: 折り紙の折りかた→折り紙の折り方（本や折り紙の後ろに書いてある）を見せる サッカーボールの蹴り方など S の興味のあることが上手にできるようになる方法が書いてあるものをいくつか見せる。 箸の持ち方、走り方、 （漢字圏の学習者に） T:この漢字の「書き方」を教えてください。 （非漢字圏の学習者に）折り紙を出して ひこうきをどう折りますか→飛行機の「折り方」 中田のボールのけり方は、上手ですか？ V 方の内容が分かったら、自作文を言う 食べる　→　食べ方を知っています。 コンピュータ、使う　→コンピュータの使い方 ゲーム、遊ぶ→ゲームの遊び方 ボール、ける→ボールの蹴り方 教科書、読む→教科書の読み方 ビデオ、巻き戻しする→ビデオの巻き戻しの仕方	～の V 方 V マス形＋方 学校でよく使うので、理解できるようにする。 生徒の発言を促す。変換できるまで、いろいろな動詞で。 他の例 「キックの仕方」 （バスケットボールの）「ドリブルの仕方」 学校までどうやって行きますか 「学校までの行き方」 ～の V 方を知っていますか？ で S 同士でロールプレイ （言い方を5つ程練習したら休憩）
展開2 （時間があったら）	
絵を見せる（『にほんごをまなぼう』） 「～ています」 これから給食を食べます。 「いただきまーす」 今、給食を食べています。 全部、食べました。 「ごちそうさまでした」 電話をかけるところです。 今、電話をかけています。 電話をかけました。	V ている V ます、V ましたの復習も兼ねる。 ～ています、構文を見せながら 大体つかめたら、練習。

<table>
<tr><td>練習
動作の絵を見せ、
「何をしていますか」回答を促す。
（何をしているかなジェスチャーゲーム）

P63　動詞変化表に書き込む。</td><td>わかってないようであれば、他の動詞で、さらに例文を挙げる。

て形の練習も兼ねる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">展開３（復習）</td></tr>
<tr><td>T:最初は、先生の番です。
先生のするとおりにやってください
「立って下さい」（立ってみせる。言わない）
「座って下さい」
T:先生の言うとおりにやってください。
「立ってください」
「座ってください」
「右手で頭をかいてください」
「両足を上げてください。左足だけ下げて、右手だけ上げてください」
S 君の番です。（～の番です）
説明:S 君だけがします。
K くんは、待ってください。

K くんの番です。</td><td>～の番、順番
説明:先生と同じことをします。
「～とおりに～てください」

学習者に「自分で」いろいろな動詞を思いつかせ、（英語で出てきたら、日本語で教え）、V テを教える。

<u>指示か聞ければ良いのか、言えるようになったほうが良いのか。</u>
「言うとおりにしてください」か「するとおりにしてください」か、選ばせてもいい。</td></tr>
<tr><td>P62
T:気をつけ、まっすぐ立ってください。
T:回れ右…右を向いてください
T:前に習え、右腕と左腕をまっすぐ前に上げてください。（言いながら身体で示す）
T:休め、足を開いて、手を後ろに回して、まっすぐ立ってください。
T と S を入れ替えたり、S 同士でロールプレイ</td><td>語彙の意味と命令形に気づかせる。
指示に従えるようになるまででよい。
（体育の時間などに）</td></tr>
<tr><td colspan="2">１時間目のまとめ　２分</td></tr>
<tr><td>P63 マット、てつぼう…読み。絵で、意味を確認。</td><td></td></tr>
</table>

その他、体育ですることを言ってもらう。 どんなスポーツが好きか。 日本語で自分のこと、好きなことなど前向きな発言ができたところで休憩をとる。	
休憩	
（識字） 文字　児童Aが漢字を勉強したいと張り切っているとのこと。児童B（漢字圏）は訓読み中心にルビを振りながら短文を文脈理解しながら読む練習。	
読み	
漢字かな混じり文を読む。 分からない漢字、読みづらいカタカナなど、 語彙を確認	教材　こども国際ニュースや教科書から短い文。 できるだけ知っている語彙のみで構成
書き	
T:　先生の書いたとおりに書いてください。 小1の漢字 習った漢字をノートに書き出し、練習。 習った漢字を使って短文を作る（例文の真似でもよい）	筆順の練習（空中で何度も→身体を動かす）
まとめ：自作の短文の読み	日本語ができる、楽しい、という印象で締めくくる。
宿題	宿題の確認